

鉄砲洲神社 論語素読 解説  
(平成 24 年 2 月 10 日)

子罕第九

【23】子曰く、法語の言は、能く従うこと無からんや。之を改むるを責しと為す。巽与の言は、能く説ぶこと無からんや。之を繹めるを責しと為す。説んで繹ねず、従いて改めずんば、吾之を如何ともする末きのみ。

孔子が言うには、諺に従わない者はいないだろうし、良い諺だと思つものは皆従うであろう。

諺に感動して自分の言動を改めようと思う。改めようと思うまでは良いけれど、実際に出来るかどうかが問題です。出来る人は非常に素晴らしい。

巽与の言は、遠回しに相手を傷つけずにやわらかく言うことです。相手に対して傷つけない様に遠回りにそつと忠告するのは良い事で、真意を訪ねる行為は素晴らしいものである。そのように真意を訪ね、求めるといふ行為をする。そして、それに従つて改めようとしない人は、私はどうにもする事は出来ないと言ふ孔子が言う。

今風に合わせれば、諺を実際に役立たせようとする人は、非常に少ない。国会の論戦などを聞いていると、良く諺を引用しています。でも言葉の上だけのものが多くて、困つたものだと感じます。孔子が国会の論戦を見れば、言葉の上面だけを色々やり取りしただけで、本気で諺を活用しようとするのは良くない。現代の国会の論戦は何て浅薄なものだろうと孔子が言うのではなからうかとこの章句から感じます。ちなみに巽与の言は傷つがずに忠告するということですから、今の国会は傷口をえぐり出して汚い言葉で相手を傷つけあふ論戦だと感じます。あまり今の国会は良いものではないですな。

家庭内も柔らかい口調で言つておれば、家庭も円満だと思います。巽与の言の使い方は、家庭内も円満にすると感じます。

【24】子曰く、忠信を主とし、己に如かざる者を友とすること毋かれ。過ちては則ち改むるに憚ること勿かれ。

忠は律義、信は約束を守る。律儀に約束を守る人を中心に友人にすると良い。自分に及ばない者を友人にするのはあまり良くない。

この間、野田総理がこの言葉を引用していました。なるほど野田総理は色々な書物を読み込んでいるのだなと感じました。

間違えたら、素直に認め改めて間違いを正す。誰にも憚ることなく、すぐ直すが良い。口にするのは簡単ですけど、実行するのは大変だと感じます。ちなみに、孔子は人を見

ながら話していますから、「自分より優れた者を友とせよ」と言っているし、「及ばない者を友とするな」と言っていますが、正反対の言い方もしています。人によって言い方を変えていますので、好きなものを選べば良いでしょう。

**【25】子曰く、三軍も帥を奪うべし。匹夫も志を奪うべからず。**

一軍は 12500 名ですので、三軍は大軍です。大軍の大將の指揮権を奪う事は誰でもできるが、一般の人間の志を曲げさせる事は出来ない。

この間「オールウェーズ三丁目の夕日」という映画を見ました。その映画の中の科白で「僕は、どうしてもマンガを描きたい。その権利を育ての親とはいえ奪うことは出来ない筈だ」と泣きながら育ての親に訴える実に感動するシーンでした。

**【26】子曰く、敝れたる縑袍を衣、狐貉を衣たる者と立ちて恥じざる者は、其れ由なるか。伎わず、求めず、何を用て臧からざらんと。子路終身之を誦す。子曰く、是の道や、何ぞ以て臧しとするに足らんと。**

孔子が言うには、ボロボロのどてらみたいな物を着ている人と立派な毛皮を着ている人、二人一緒に立っていてボロボロのどてらを着て恥じない人間は由（子路）ぐらいだろう。立派な毛皮を着ている人に対して、自分も欲しいとせがまない、妬まない、そういうことは何と素晴らしいものだ。子路は、孔子に言われたことは一生涯守ろうとしていた。孔子が言うには、「人の道を実行するのは何と素晴らしいことではないだろうか。子路は実に素晴らしい人間だな」

佐藤一斎が言志四録の中で、人生には第一等の人生、第二等の人生、第三等の人生がある。

第一等の人生を歩みたい人間は、天地自然を師匠とする。天地自然を師匠とすることが出来れば、第一等の人生を歩む事が出来る。第二等の人生は、人格をもった師匠と会えれば第二等の人生を歩む事が出来る。第三等の人生は、素晴らしい書物に出会う事が出来れば第三等の人生を歩む事が出来る。金銀銅メダルの人生です。

子路は孔子という素晴らしい師匠に出会う事ができ、その人格、教えを受け止めて一生涯守り通したという事は、子路は第二等の人生を貫いていった。翻って、自分はどうであるか。自分が素晴らしい書物に出会えていれば、第三の人生を歩む切符は手に入れたという事ですし、素晴らしい人格を持った師匠に会えれば第二等の人生を歩む切符を手に入れていると言えます。天地自然を師匠とする人は第一等の人生を歩む切符を手に入れている。その切符を手に入れていて、実行できるかは御本人の修練しただいと考えます。